

平成24年 消防概況をお知らせします

■火災

		平成23年	平成24年	増 減
火災 件数	建物火災	17	16	-1
	林野火災	2	1	-1
	車両火災	2	1	-1
	その他	4	7	+3
	合計	25	25	0
死傷 者数	死者	1	2	+1
	負傷者	2	2	0
損害額 (千円)		78,155	111,235※	+33,080※

※平成24年12月24日の火災分は除く。

≫ 消防団の出動

25件発生した火災のうち8件

≫ 原因

たき火4件、こんろ2件、火遊び1件、放火1件、放火の疑い4件、その他7件、不明・調査中6件

≫ 消防による対策

毎年火災によって尊い命や財産が失われています。死傷者は建物火災によるものが最も多く、その中でも高齢者の割合が高くなっています。平成23年から全世帯に設置が義務付けられた「住宅用火災警報器」の設置率は、県で71.3%、市では70.6%です。住宅用火災警報器は逃げ遅れの防止に非常に効果があるため、設置率向上のため推進啓発活動に努めています。

■救急

		平成23年	平成24年	増 減
救急 件数	急病	1,409	1,464	+55
	一般負傷	346	361	+15
	交通事故	215	213	-2
	その他	306	301	-5
	合計	2,276	2,339	+63
搬送人員		2,187	2,230	+43
1日平均		6.24	6.39	+0.15

≫ 救急件数

平成24年の救急件数は2,339件で、1日平均6.39件の出動です。搬送人員は2,230人で、市民27.5人に1人の割合となっています。近年は高齢化の進展などにより救急需要は増加の一途をたどり、土岐市でも65歳以上の方の救急件数は1,418件で、全体の60.6%を占めています。

≫ 救急車の適正利用を

市が救急搬送した方の3割以上が、救急車で搬送する必要のない軽症程度の方でした。

消防本部では4台の救急車を配備し、24時間市民の皆さんの救急要請に対応できるよう努めています。しかし、緊急性の低い救急要請が増えることで、本当に救急車が必要な方の元へ救急車を到着させることができなくなってしまいます。大切な命を救うため、救急車の適正利用に協力をお願いします。

3月1日(金)～7日(木)は春の全国火災予防運動

『消すまでは 出ない行かない 離れない』

(平成24年度 全国統一防火標語)



住宅防火 命を守る 7つのポイント — 3つの習慣・4つの対策 —

3つの習慣

- ▷寝たばこは、絶対やめる。
- ▷ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ▷ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- ▷逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ▷寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐため、防炎品を使用する。
- ▷火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
- ▷お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

問 消防本部 (☎3119)